

商学研究所公開シンポジウム「女性が輝くコミュニティ」現状や問題点など徹底討論



活発な討論を展開する4人のパネリスト

を2時間にわたって活発に討論。会場からも意見や質問が多数出された。

パネリストは長野昌子(モニターハウス(株)代表取締役社長)、原美紀(特定非営利活動法人「びーのびー」副代表)、川名和美(広島修道大学商学部助教授)、林大樹(一橋大学大学院社会学研究科教授)の4氏。司会・進行は神原理商学部助教授が務めた。

専修大学商学研究所(上田和勇所長)主催の公開シンポジウム「女性が輝くコミュニティづくりー地域生活とビジネスからの新しい動きー」が11月29日、川崎市多摩市民館で開かれ、市民、学生ら約150人が参加した。

同シンポは「地域社会における女性と仕事(ビジネス)」を統一テーマに01年度からシリーズとして開催。今回はこれまでの成果をもとに、パネリストの女性企業家と労働問題研究者が、女性が輝けるコミュニティのあり方について、その現状や問題点など

[12月15日/ニュース専修2面]

教育学会50周年記念大会



仲本光正とクイチャーパラダイスの指導で踊りの手ほどきを受けるという和やかな場面も

専修大学教育学会(会長＝出牛正芳学長)の設立50周年記念大会が11月23日、神田キャンパスで開催された。当日は全国から参集した小・中・高校の教職者や、学生など約150人が出席して、研究発表会、記念イベント、定期総会が行われた。

研究発表会は、錦織政晴氏(昭55院文修・都立稲城高等教頭)の総合司会で「21世紀の教育の創造に向けて」をメインテーマに進められ、義務教育部門は佐藤行教氏(昭45法・川崎市長尾小学校教頭)の司会で、「総合的な学習と特色ある学校づくり」を岩田公夫氏(昭45文・横浜市立中村小学校長)が、「学校の自由化と教育活動のひろがり、そして共

同」を齋藤博志氏(昭54文・八王子市立元八王子中学校教頭)が、高校教育部門は加藤裕氏(平5昭・埼玉県立所沢所業高校)の司会で、「総合実践の授業から商業教育を考える」を山本睦美氏(昭59商・都立五日市高校教諭)が、いずれもビデオ映像を使って発表、活発な質疑応答があった。

午後の記念イベントには、90年代から三線くさんしん・沖縄の撥弦楽器)を弾いて沖縄の民謡・琉球文化を全国に紹介、活動を続けている仲本光正とクイチャーパラダイスを招き、トークを交えた歌と踊りを楽しみながら、沖縄の伝統芸能継承者の生き方を学んだ。

記念撮影に続き15階ホールで総会・懇親会が開かれ、会務報告、17人の新会員紹介のあと、50周年を記念して、出牛会長から、多年にわたり学会の運営、発展に尽力した功績を称え、井出功孝氏(昭36商経)、角山廣彦氏(昭30商経)、長沼力氏(昭37法)、柳澤直樹氏(昭31商経)の4人に感謝状と記念品が贈られた。

〔12月15日/ニュース専修2面〕